

D03 自治体職員のための簿記・公会計(公会計コース:地方公会計制度の活用)	
平均所要時間	80分程度
対象業務	財政、地方公会計、公営企業各事業、管理職の方
難易度	★★★
学習の目的	統一的な基準による地方公会計制度について理解するとともに、財務書類の見方や地方公会計制度の活用方法について理解を深める。
前提知識	特になし
学習目標	「学習の目的」と同様
コース構成	CHAPTER1 統一的な基準による財務書類の作成について [13:26] 統一的な基準による地方公会計の整備促進について / 地方公会計の意義・目的 / 公会計による「情報の見える化」の推進 / 地方公会計制度を活用した課題解決のステップ CHAPTER2 統一的な基準による財務書類の見方 [11:42] 公会計と官庁会計の主な違い / 統一的な基準による財務書類の体系 / 貸借対照表 / 行政コスト計算書 / 純資産変動計算書 / 資金収支計算書 CHAPTER3 財務書類の活用に向けた作成のポイント [6:48] 財務書類作成の全体像 / 適切な財務書類等の作成に向けた取組 CHAPTER4 公会計情報の活用に向けて [4:15] 公会計情報の活用局面 / 公会計情報の活用方法 / 統一的な基準による財務書類の活用状況 CHAPTER5 財務指標の分析 [16:58] 財務指標分析のポイント / 財務指標分析の視点 / 主な財務指標 / 指標の組合せによる分析 / 類似団体との比較による財務指標分析の例 / 統一的な基準による財務書類に関する情報(各種指標)の公表 CHAPTER6 セグメント分析の実施手順 [11:53] セグメント分析とは / セグメント分析の実施手順 / セグメント別財務書類作成演習 / セグメント分析の推進に向けて CHAPTER7 地方公会計に関する取組事例 [13:14] 地方公会計に関する取組事例集 / 地方公会計に関する取組事例集の紹介<具体例> / 公会計と施設マネジメントとの連携(施設の統廃合) / 予算編成への活用 / 受益者負担の適正化 / 固定資産台帳を活用した未利用財産の売却